



▲道の駅「もくもくランド」で華麗な舞を披露した火伏せの獅子舞

## 家内安全・火難消滅を願う舞

津山で横山火伏せの獅子舞巡回

横山火伏獅子舞保存会による「横山火伏の獅子舞」が1月2日、横山地区の全世帯約500戸を4班に分かれて巡回し、家内安全・火難消滅を祈願しました。笛や太鼓の軽快なリズムに乗って、威厳な面持の獅子頭で勇ましい舞を披露。巡回先では、獅子舞の姿に泣き出してしまう子どももいましたが、正月恒例の伝統行事を家族で温かく見守り、家内安全を願いました。また、獅子舞は初売りでにぎわっていた道の駅「もくもくランド」にも立ち寄って舞を披露。多くの人たちが正月の伝統行事を楽しみました。

## 人文字で防犯意識を高める

石越小で110番教室と人文字作戦

「110番の日」の1月10日、石越小で110番教室と人文字作戦が行われ、石越小全校児童、地区住民、防犯関係団体の関係者ら約300人が参加しました。一日佐沼警察署長に委嘱された、6年生の榊原伊織君と金優貴子さんが、大きな声で防犯メッセージを朗読。全校児童は防犯に対する意識を高めました。その後、校庭では参加者全員で「石越小 110番の日 2008 安全・安心」の見事な人文字を完成。県警ヘリコプターが上空から写真を撮り、児童たちに「いたずら電話は絶対にしないでください」と呼び掛けました。



▲「110番の日」にちなんで行われた石越小の人文字作戦

## マジックを見ての味はいかが

豊里でもちつき大会

豊里保育園の祖父母参観「もちつき大会」が1月10日、同園で行われ、園児とその祖父母約150人が参加しました。今年は町内の佐々木勝壽さんを招いて、マジックショーを開催。佐々木さんは、ハンカチを一瞬でステッキに変えたり、何もなしのどんぶりから水を出したりと、華麗なマジックを披露しました。園児たちは驚いた様子でしたが、その見事な手さばきに歓声を上げて喜びました。その後、園児と祖父母が協力してもちつき大会を実施。つきあがったものは、あんこと雑煮にしておいしく食べました。



▲おじいさんやおばあさんと一緒につきたてのもちを食べる園児たち



▲薄い氷が張った沼にコイとヘラブナの稚魚を放流する団員

## 稚魚の放流で沼の水質浄化

長沼でコイとヘラブナの稚魚放流

コイとヘラブナの稚魚の放流が1月14日、長沼で行われ、長沼漁協の組合員と野球スポーツ少年団「北方小ファイターズ」の団員、保護者らが参加しました。団員たちは、長沼ボート場の桟橋からバケツを使って、成長を願いながら稚魚を放流。続いて、組合員がトラックの水槽から直接沼へ流し込みました。今回放流した稚魚は、コイ約4,000匹とヘラブナ約3,000匹。組合では「稚魚の放流を通して、子どもたちが自然や環境に関心を持ち意識も高まってもらえればうれしい」と話していました。



▲歴史や史跡名勝などが描かれたかるたで勉強しながら競いました

## かるたで楽しく郷土の勉強

南方で新春郷土かるた大会

第19回新春郷土かるた大会が1月20日、南方農村環境改善センターで開催され、団体・個人の部に幼稚園児、小・中学生130人が参加しました。「郷土かるた」には、南方の歴史や史跡名勝、産業や特産物などが描いてあり、遊びながら郷土を学べます。参加者は、読み札の句を集中しながら聞いて札を取り、その数を競いました。大会結果は次のとおりです（敬称略）。  
【団体優勝】裏大岳子ども会【個人優勝】〔幼稚園〕千葉瑠奈〔小学生〕金田ひなた〔同中学年〕氏家佑斗〔同高学年〕渡邊悠子〔中学生〕阿部善人

## 地域の伝統文化に触れる

登米で「ふるさと学習」たこ作り

地域に古くから伝わる「とよま凧（角凧）」の作製を通じて、伝統文化を学びながら創作することの喜びや昔の遊びに親んでもらおうと、「ふるさと学習会」が1月16日、登米小で行われました。小学6年生40人が参加。普段、屋内でテレビゲームなどで遊ぶことが多い児童たちは、触れたり遊んだりすることが少なくなったたこ作りを、講師から指導を受けながら熱心に取り組みました。次回の学習会には、糸付けなどの作業を行い、完成したたこで実際にたこ揚げをすることになっています。



▲講師の指導で「とよま凧（角凧）」を作製する登米小の児童